

野方駅周辺を

にぎわいの拠点に

自由民主党議員団 大内 しんご

野方駅の整備は、単に駅舎の建て替えと自由通路の建設だけではなく、今後の野方のまちづくりにおいて非常に重要である。これを契機に、野方駅周辺を中野の北部地域における「にぎわい」の拠点と位置づけ、まちづくりに取り組むべきではないか。

区長 連続立体交差事業と一体になったまちづくりを進め、活力と魅力に満ちた地域として推進していきたい。

いじめゼロの教育を

①いじめっ子・いじめられっ子・見てみぬふりの傍観者・面白がる観衆の4層構造を持つといういじめ集団に対し、どのように指導していくのか。②「いじめゼロの中野の教育」などのスローガンを掲げ、区を挙げて「撲滅運動」を推



中野まつりでの物産展



進してはどうか。

教育長 ①いじめを許さない環境が必要である。すべての子に指導する、総合的ないじめ対策を構築していきたい。

区長 ②撲滅には、家庭や学校など、すべての関係者が一体となり、取り組む必要がある。いじめを明確に認識しながら、地域での子育て支援に取り組むたい。

地域間交流を推進せよ

①区内の空き店舗の活用や、アンテナショップの協力などで、定期的・恒常的な市場を開き、区と交流のある各地の名産品をPRして人を呼ぶことで、地域振興に寄与していく提案をしたが、区は、どのように進めていくのか。②障害者や高齢者の雇用創出のため、事業者を募集し、支援していくべきでは。

区長 ①区商連など、区内の関係団体や交流先との協議の場を設け、準備していきたい。②具体的に検討を進めていきたい。

24時間ケア付きの

高齢者住宅を

無所属 佐藤 ひろこ

安心して地域で暮らし続けることは、誰もが願うことである。住宅会社と介護事業者が協働でつくる24時間ケア付きの高齢者住宅の誘導策を検討し、要介護高齢者が地域で暮らせる高齢者住宅の整備を進めるべきでは。

区長 24時間型の介護サービスなどの在宅支援サービスを地域に普及することで、高齢者の地域生活を保障し、住み続けられるための施策を充実していく。

多文化共生社会の推進を

日本に定住する外国人と共



生していくうえで、子どもたちへの日本語学習支援を始め、生活支援の相談窓口の設置、災害時の対応などが課題となっている。多文化共生の指針や計画を策定し、国際交流協会などと連携して、総合的に施策の推進を図るべきでは。

区長 多言語での行政サービスは、今後より重要になってくると認識している。現在、国際化推進施策の検討を行っており、多文化共生社会の実現を目指していく。

八中か北中野中に

知的障がい学級の増設を

無所属 むとう 有子



04年、西中野小しらすぎ学級の卒業生が、地域の中学である八中か北中野中に進学できよう、障がい学級の増設を望む陳情を区議会は全会一致で採択した。ところが区は、保護者に何の説明もなく北東部の七中に開設するようだ。七中への新設も必要だが、陳情を踏まえ、北西部の八中か北中野中にも増設するよう、

早急に検討すべきではないか。

教育長 中学校の特別支援学級の増設については、地域バランスを考慮して北西部地域に設置したいと考えている。

区外に向けて

積極的な情報発信を

無所属 いながき じゅん子



円滑な区政運営を行うには、区民と行政との信頼関係が重要であり、両者をつなぐ広報の役割は大きい。また、中野の良さをより多くの人々に知ってもらうために、マスコミなどを活用した対外的な広報活動も重要と考えるがどうか。

区長 区の施策や情報を区民に正確に伝えるには、外部の情報媒体への適切な情報提供が重要である。18年8月から定例区長記者会見を行い、報道機関への情報提供の機会を増やすなど工夫している。今後も効果的なパブリシティ

活動の充実に努めていく。ホームページの改善を

利用者が情報を探しやすい使いやすいトップページに改善し、検索プログラムの精度を高めたり、音声読み上げソフトを用意するなど、区民の利便性向上のために、ホームページの充実に更に取り組むべきでは。

区長 指摘については、改善が必要と考えている。今後も、使いやすい、見やすいものに改善していきたい。

学校跡地活用策に

地域住民の声を生かせ

無所属 林 まさみ



①学校再編で学校としての機能がなくなる13校の区立小中学校跡地は、災害時の避難所として確保されるのか。②学校跡地の活用は、単独ではなく、公共施設全般の再編・再配置とともに検討し、住民の声を反映するマスタープランを策定すべきでは。

区長 ①地域の実情に応じて、個別に検討している。

②区有施設の再編や地域課題の解決などの検討と併せ、区民の意見も受け止めていく。随意契約を適正に進めよ

活動を充実させる。ホームページの改善を

利用者が情報を探しやすい使いやすいトップページに改善し、検索プログラムの精度を高めたり、音声読み上げソフトを用意するなど、区民の利便性向上のために、ホームページの充実に更に取り組むべきでは。

区長 指摘については、改善が必要と考えている。今後も、使いやすい、見やすいものに改善していきたい。

を改めます。

●中野区立少年自然の家条例の一部を改正する条例

●中野区立体育館条例の一部を改正する条例

●中野区もみじ山文化の森施設条例の一部を改正する条例

●平成19年度中野区一般会計補正予算(第4次)

●中野区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正す

る条例

●特別区道路線の認定について(白鷺二丁目600〜660番)

●平成19年度中野区一般会計補正予算(第4次)

●中野区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正す

る条例

●特別区道路線の認定について(白鷺二丁目600〜660番)

●平成19年度中野区一般会計補正予算(第4次)

●中野区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正す

る条例

第4回定例会 可決した意見書

中学3年生までの医療費無料化のすみやかな実施を求める意見書

少子化の背景には、子育てにかかる経済的な負担の重さがあります。子育て世代にとって、「子育て費用の助成」を行政に求める声は、中野区が行なった「子育て支援アンケート」のなかでも最も多いものとなっています。また、子どもが病気がかかったとき医療費の心配がないようにしてほしいとの声は切実です。本区では、今年10月から子ども医療費について中学3年生までの無料化を実施しています。制度としての持続可能性を高め、子育て世代の要

